



松江保健生協 2018 年度のまとめ（案）

（はじめに）

新たな「令和」の時代が幕を開けました。

私たちのくらしの問題に目を向けると、「格差と貧困」の一層の進行、憲法への自衛隊明記をはじめとする「改憲」の動き、消費税増税や社会保障制度の後退による平和や生活、医療・介護への不安は深刻さを増しています。

2018 年度は、「あったかまちづくりビジョン」のこれまでの成果を踏まえ、5 年目の節目の取り組みとして、医療福祉生協らしい“地域包括ケア”の実践、健康づくり・つながりづくりのひとまわり大きな展開を図る活動に取り組みました。

1、くらしを支え、安心して住み続けられるまちづくりに取り組みました

① 3 つのつくろうチャレンジ（支部、サロン、つながりマップ）に取り組み、新たな支部づくりはできませんでしたが、サロンは 17 ヶ所で開催され、つながりマップは延べ 31 マップが作られました。

② 介護・認知症を予防する生活習慣と認知症になっても安心できるまちづくりに取り組み、支部での認知症健康講座 4 回（延べ 84 人）、班会認知症学習会 29 回（延べ 122 人）、脳トレ班会 74 回（延べ 365 人）が開かれました。

③ 無料低額診療事業を 2017 年 7 月から開始し、これまでに延べ 82 人の皆さんから申請があり、72 人の方の利用につながりました。医療費の免除・減額は 436 万円となりました。

様々な経済的困窮を支援する「おたがいさま支えあい基金」は基金総額 351 万円となり、無料低額診療事業に 305 万円、その人らしく生きる支援に 4 万円活用しました。

④ 学校や公民館、JAしまね、購買生協など他団体と協同し、フードバンクしまね「あったか元気便」準備会として夏休み 2 回、冬休み 1 回実施し、合計で 1 トンを超える食品を子供を抱える「生活困窮世帯」にお届けしました。

⑤ 「松江市高齢者見守りネットワーク」は、市内 27 登録事業所の一つとして、自治体と連携を取り合いながら認知症徘徊の方の見守りネットワーク活動などに取り組みました。

2、健康づくりをすべて活動の基本に据えた取り組みをすすめました

① 「健康チャレンジ」は 8,569 人が参加。つながりづくりを大切に「仲間でチャレンジ」も 316 グループ/1,289 人となり、いずれも過去最高の取り組みとなりました。

「仲間でチャレンジ」を通じ、新しく 15 班が結成され、休眠班の復活も 12 班ありました。

② 保健大学が 2 つの支部で開催され、39 名が修了されました。

病気の予防や健康づくりに関わる知識とともに、ヘルスリテラシー（自身の健康を決める力）の学びが広がりました。

③ 「認知症予防はお口から」～健康寿命を伸ばすお口の健康～ をテーマに、組合員活動交流会が過去最高の参加者（441 人）で開催され、加齢に伴うフレイル（虚弱）予防、オーラルフレイル予防（お口の健康）の啓発がすすみました。

④ 「美味しく、楽しく、みんなで」を合言葉に、「すこしおレシピコンテスト」、「松江保健生協版すこしおレシピ集」の発行、「すこしおサポーター養成講座」の開催など、医療福祉生協ブランド“すこしお生活”の「見える化」に取り組みました。

3、平和で人権が尊重されるまちづくりに取り組みました

① 「憲法をくらしに活かす全国統一署名」（3000 万人署名）に取り組み、これまでに 8,130 筆の署名集約となりました。

② 戦争記憶を風化させない「戦争体験を語り継ぐ集い」の開催、原水禁世界大会への参加、「ヒバクシャ国際署名」など、核兵器根絶に向けた取り組みをすすめました。

③ 小泉元首相の「脱原発講演会」（2/16）に実行委員会団体として参加協力しました。

目標（1,500 人）を大きく上回る 2,100 人参加となり、島根原発再稼働問題、脱原子力発電を考える機会となりました。

4、生協の組織・経営基盤を強く、大きくする課題に取り組みました

① 2018 年度決算は△4,730 万円の赤字決算となりました。

「必要剰余」目標からは予算を大きく下回りました。

② 組合員加入は目標 1,800 人に対し 1,122 人、純減 789 人となりました。

出資金は目標 2 億 3 千万円に対し、2 億 126 万円、純増 627 万円の到達となり、出資金総額は昨年度末に続き 15 億円を超え、これまでの最高額となりました。

③ 「いのちの章典」を実践する人づくりをすすめました。

「第 3 回いのちの章典実践交流会」を開催し、「その人らしく」をどう支えるかをテーマに実践と協同について学び合いました。

④ 老健・虹の「介護福祉士実務者研修実施施設」として 2 期目のスクーリングを実施し、新たに 6 名の修了者となりました。

地域での介護福祉士養成と介護の質向上に努めます。